

このひとをじっくり探してみますか？

第7回

茂木秋香 もてぎしゅうこう

(文久3年～昭和16年)



▲茂木秋香肖像写真 (出典: 巨人秋香遺墨展)

茂木秋香は、文久三(一八六三)年、矢島村(現在の深谷市矢島)に生まれました。本名は信次郎で、秋香と言いました。秋香の生家は材木商を兼ねた農家で、他に藍玉や蚕種も販売する半農半商の豪農・裕福な家庭に育ちました。身長百八センチメートル以上の堂々とした体格に、人情に厚く心温かい性格で、その人柄から大寄村長も務めました。秋香は父喜作から俳句の基礎を教えられ、六歳の頃から熊谷に滞在した渡辺鴎舟に学問を学び、続いて下手計村(現在の深谷市下

手計)の望月久知に漢籍を、上州碓氷郡水沼村(現在の群馬県高崎市)の名俳匠・下平可都の下で、本格的な俳諧の修業をしました。秋香は下平から三十年の間、厳しい指導を受け、豊かな才能を開花させました。全国各地の一流の俳人と交流するなど広く俳句に精通し、大匠としての地位を築き、多くの優れた門人を育てました。生涯を通じ松尾芭蕉が大成した、『正風俳諧』の道に精進しながら、深谷の美しい風景や自然などを数多くの俳句に詠み込みました。

分かります、あか抜けた句風で、昭和十四(一九三九)年に発行の句集『草主露』には、五百七十七句が収められています。これは生涯に詠んだ句の一部に過ぎないとされています。また、多才で尺八、浄瑠璃、俳画、書、連歌、菊花の栽培にも才能を見



▲市が収蔵する俳画帳

せ、地域の人々の依頼を受け、碑文を書いたり、独特の俳画を描いた作品を贈りました。秋香は昭和十六(一九四二)年、七十九歳で亡くなりましたが、それらの作品は今も大切に収蔵され、その徳がしのばれています。



▲源勝院にある碑 『くらがりの花とさくらむ杜鵑』

源勝院(岡部地内)や寄居町玉淀堤には、秋香のために立てられた句碑があります。

用語の手引き

『渡辺鴎舟』

明治初期の教育家。幡羅郡下奈良校(現在の熊谷市立奈良小学校)の教員を務めた。

『望月久知』

教育者、前橋伝習所で小学教科を伝習。八基尋常高等小学校長など教育に献身

『漢籍』

中国の書物。中国人によって書かれた漢文形態の書物

『正風俳諧』

松尾芭蕉が確立した『さび・しおり・ほそみ』を主体とする俳諧

※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。また、年齢については、当時の通例に従い数え年の表記とします。

市長の深い話

深谷市長 小島 進

『行楽の秋』

暑かった夏も終わり、過ごしやす季節となりました。

秋は、いろいろな修飾語がつく季節でもあります。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋などがあり、行楽の秋とも言われます。行楽地への旅もですが、市内でも、ある『旅』の企画があります。

9月から予約の受け付けをしている『深谷〇〇旅』のプログラムが、つよつよ10月17日(日)から始まり、10月24日(日)まで続きます。『深谷〇〇旅』と一口に言いますが、参加するお店のかたとの『縁』を結び、人が集まって『円』がでるような、『エン』ターテインメントの旅を楽しんでもらおうと



思いを込めて付けました。『深谷〇〇旅』では11月30日(月)までの間に、『食を楽しむ』『技を学ぶ』『心に触れる』『自分を磨く』をテーマに深谷を感じる47のさまざまな体験プログラムが行われます。地元食材を楽しんだり、老舗の裏側を見学したり、職人の技を体験するなど、工夫を凝らした企画で皆さんをおもてなしします。

昨年は約1100人のかたに参加いただき、アンケートに応じていただいたかたの98%に『満足』と答えていただきました。『深谷〇〇旅』は市内の事業者より、素晴らしいプログラムが提供され、今まで知らなかった市の魅力が発見できるのではないかと考えています。

そして、10月31日(土)、11月1日(日)は毎年恒例の深谷市産業祭と併せて、『全国ゆりサミットふかや』を開催します。この『全国ゆりサミットふかや』は、平成26年2月に見舞われた大雪からの復興を掲げる取り組みでもあります。

この他にもたくさんイベントを開催します。市民の皆さんはもちろんなこと、市外にお住まいの家族、親戚、お友達などと一緒に楽しんでください。

ありがとうの手紙



優秀賞

小学校低学年の部

てんごくのひいばあちゃんへ



川本北小学校1年(現2年) 青木乃娃さん

ひいばあちゃん、わたし、いちねんせいになったよ。ようちえんのころは、わたしのかえりをまいにちおやつをよういしてまっていたね。ありがとう。ここにこのえがおでおかえりをいってくれてありがとう。わたしはランドセルがすこしおもいけど、がんばってあるいてかよっていつてるよ。ランドセルをみせたかったな。ひいばあちゃんのえがおがみられなくなってさびしいけどてんごくからずっとみまもっていてね。

ひいばあちゃん、だいすきだよ。

みんなの声BOX

Q 高齢者が虐待を受け、体にあざやけががあります。どこか相談するところはありますか？

A 高齢者虐待を発見した場合は、警察へ通報してください。

- ①不審なあざやけががある
- ②最近、一人暮らしの高齢者の姿を見掛けない
- ③高齢者をののしる声が聞こえる
- ④家族が高齢者を介護していないなど、困難事例の相談は、長寿福祉課、またはお近くの地域包括支援センターに連絡してください。

※閉庁時の相談は、深谷市役所(☎571-1211代)へご連絡ください。

問い合わせ 長寿福祉課(☎574-6645)

